あるなか、コンパクトシティへの 迫られ、また危機的な財政状況に

転換の必要性が一層高まっている

持続可能な社会を見据えたま

て「コンパクトシティ」が注目さ 持続可能なまちの形態として改め

れている。高齢化社会への対応を

くの公共インフラが一斉に老朽化 し、崩壊の危機が顕在化するなか、

質問。高度成長期に整備された多

あがの市議会だより



清彦

承され、良好な生活環境が営まれ

おり、それぞれに歴史や文化が継

には昔からの集落も多く点在して 答弁 市街地を中心として周辺部

要請にかなった積極的に取り組む

答弁 LED照明の導入は時代の

ストラや雇止めにあっ

たとたんに

が、この認 い状況が拡 働いても暮らせない低

賃金で、リ

いて 防災計画の進捗状況につ

あるが見解を伺う。

ちづくりについての見解を伺う。

可能社会をコンパクトシティで持続

公明党 村

支援もしっかり行っていく必要が 域のなかで支え合う、絆社会への てきている。中心部への誘導や、 あると考えている。 なく、これまでのように地域が地 中心部だけのインフラ整備だけで

照明の導入を省エネ対策としてLED

のLED照明導入を進める動きが して、民間資金を活用したリース ることにもつながる一つの手法と 討すべき課題である。電気料金の のLED照明の導入は積極的に検 方式によって公共施設や街路灯へ 値上げによる財政負担の軽減を図 質問 逼迫する電力事情を背景 省エネ対策として公共施設へ

内消火設備やスプリンクラーの設 項(ロ)として19施設となってお の火災報知設備が義務付けられ ており、 め、自動火災報知設備と、消防へ 全ての施設に、消火器具はじ 防火管理者の配置がなされて 消防法施行令別表第一6 他に、面積基準により室

阿賀野クラブ 右 川

恒夫

び改善状況の把握について伺う。 避難訓練回数不足(年2回以 立入検査等での指摘事項及 設備上の不備はなかった

対策社会福祉施設の防火安全

症グループホーム、そして2月10質問 去る2月8日長崎市で認知

日には新潟市で知的障害者グルー

プホーム火災が発生。何れも尊い

人命が失われている。当市の同様

有と連携体制について伺う。 文書で指導した。 所管部署での関連情報の共

上)が一部にあったので現地及び

況等の情報が共有されていなかっ での指摘事項や、施設での対応状 た部分もあり今後徹底していく。 質問 人的配置基準(特に夜間) 消防本部で実施した検査等 一般的情報は共有されてい

制度上の問題点も含め

数と、防火安全基準の適用状況を 害者自立支援法に基づく種別施設 題として、まず介護保険法及び障 施設での防火安全対策の現状と課

> え対応しているか伺う。 現状での課題と対策をどの様に捉

指導している。 の増員と地域での協力体制構築を 答弁 夜間体制が手薄であり職員

対策構築に向け現場の声を聞く機 策強化は、事業者にとってハード 会を設けるべきである。 ルは極めて高い。より適切な安全 現行法では職員の増員配置 ハード・ソフト両面での対

機会を活用し適切に対応したい。 答弁 ご指摘を踏まえ、あらゆる

確立について新病院建設と救急体制の

-4時間の救急体制もできない」



リットを精査するなど十分な検討

を進めていく。

後費用対効果やメリット・デメ リース方式の採用については、 備費や維持管理費が削減できる

· 今

費の引き下げが実施されようとし ているが、どのような制度に影響 質問 安倍内閣によって生活保護

等多くの制度で影響が懸念。 保険の減免、小中学校の就学援助 の自己負担限度額、保育料・介護 民税の非課税限度額、医療保険等 答弁
最低賃金や、就学援助、 住



が有効であると認識している。設 が分かりやすい街路灯のLED化 べき施策と考えており、特に効果



日本共産党 [] []

による影響について生活保護基準の引き下げ

があるか伺う。

見問 受給者は、派遣や請負など



識はどうか。 大し増えていると思う 保護に頼らざるを得な 答弁 長引く不況の中

呂も我慢。病気の姉妹 況が、保護受給者を増 フティーネット。最低 ていた。生活保護は、 行けず、灯油も倹約し た中高年の方の再就職 響のないように市でで 更に引き下げるなど許 慢の連続で暮らし、つ 阿賀野市は、毎年10%増えている。 くても仕事がない、 質問

お年寄りの受給者は、お風 最後のセー せない。影 の生活費を らいと話し ながら、我 の見舞いも が困難な状 で、働きた やしている 度職を離れ きる福祉灯

答弁

地域防災計画の改訂作業を

要援護者に配慮した避難所

徹底を願う。

織作り等住民と共に設定・周知の

負問 地域の実情に合った防災組

運営や、 進め、

確保に努める。

検討したい。 油など再度検討を願う 答弁 要望のあった福祉灯油は





輝栄 阿野クラブ 風間 考えを伺う。 政負担の削減」だった との約束の見通しが立つまで、新今こそ原点に立ち帰って、市民 病院建設の一時凍結を勇気をもっ て決断すべきと考える

が、市長の

設民営化から2年半が いて指定管理者が懸命 の間、市が業務委任し 答弁 水原郷病院につ が経過し、こいては、公 に取り組ん た項目につ

ただきたい。 として表れてこない現 た部分については、な 急体制の復活や医師の を取り巻く厳しい諸情 しかしながら、昨今 状を理解い かなか結果 確保といっ 勢から、救 の医療環境

必要な医療を受けられ を払拭する必要がある。 ることから、一刻も早くこの不安 ており、耐震性に大きな不安があ 45年から50年」を経過しようとし 市民の皆様が、必要なときに、 病院の主要建物につ る病院にす いては「築

平成22年10月の公設民営化の目

赴任したくなるような病院を造ら での「医療環境」を整え、医師が 件であり、それには、まず設備面 るためには、医師の確保が絶対条

はず。

り、このことが医師を呼び寄せる 院を支えるという体制が大切であ ある、魅力的な病院というのは、 ばかりでなく、地域を挙げて病 決して立派な施設や給与・待遇面 また、医師にとって働きがいの

ための環境づくりになる。 こうした、い



画を進める。

すことが一番。

質問 原発防災では、原発をなく

答弁国や県の基準に沿って、

計

なければならない。

併せて、前述の 境の醸成」と、 と結果はついて 整えば、おのず 新病院という わゆる「社会環 くると確信して 「医療環境」が

ているが、訓練などは少ない。避

自治会の78%で組織ができ 自治会ごとの現状を伺う。

計画の周知徹底を働きかける。

設置を25年度実施。避難訓練など 難所看板の設置や、防災行政無線